

結核集団感染の発生について

1 概要

令和5年7月13日に秋田市保健所管内の高齢者施設に入所する80歳代男性利用者が肺結核と診断され、秋田市保健所に結核の発生届があったことから、秋田市保健所で接触者健康診断を行ってきたところ、これまでに3人の発病者と2人の感染者が確認された。

これにより、結核集団感染に該当するため、5月1日に厚生労働省へ報告したものです。

2 感染状況

区分	利用者	職員	計
初発患者（肺結核）	1		1
発病者（肺結核）	1	2	3
感染者（潜在性結核感染症）	1	1	2

【結核集団感染の定義】

同一の感染源が2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を算定する。
(初発患者はこの計算式には含まれない：令和5年7月13日発生届出患者)

【今回の事例】

- ・発病者：3人（1人を6人と計算）→18人
 - ・感染者：2人
- 合計 20人

【参考】

- ・発病とは、吸い込まれた結核菌が活動し発病した状態をいいます。
- ・感染とは、結核菌が肺内に吸い込まれたが発病していない状態をいいます。

3 接触者の健康診断実施状況

感染拡大防止のため、初発患者と接触のあった施設利用者および職員を対象とした健康診断結果は次のとおりです。

【3～8か月後健診による結果】 (単位：人)

	受診者数	発病者	感染者	異常なし	検査中
利用者	23	1	1	19	2
職員	22	2	1	18	1
合計	45	3	2	37	3

4 今後の対応

- (1) 治療中の患者に対して、服薬継続が確実に行われるよう支援を実施します。
- (2) 接触者に対して、健診や継続的な経過観察等を実施します。

市民の皆様へのお願い

- ・結核は早期に発見されると、周囲への感染の心配もなく、6か月から9か月の内服治療で完治します。決して怖い病気ではありません。
- ・2週間以上長引くかぜ症状は要注意です。長引く咳、微熱、寝汗、だるさ等が続いたら、早めに医療機関を受診しましょう。周囲の方は、受診を勧めましょう。